

建設

KENSETSU

未来通信

2月15日(木)

2024年(令和6年)

関東道路ら受賞の栄誉

ベストプラクティス賞

茨城県

リスキリング推進企業

県(大井川和彦県知事)は7日、いばらきリスキリングプロジェクト「リスキリング推進シンポジウム」を開催した。県内のリスキリング推進に関する表彰企業の紹介や基調講演、パネルディスカッションを実施。表彰では、ベストプラクティス賞を関東道路㈱(筑西市下川島635、武藤正浩代表取締役)、㈱ヒバラコーポレーション(東海村村松平原3135-85、小田倉久視代表取締役社長)が受賞し、大井川知事が表彰状を手渡した。

スキルを積極的に活用

開会に先立ち、大井川知事は「県が持続的に発展するためには、成長産業の誘致や新産業の招致、中小企業の成長支援や強靱化、人材確保、人材育成などの政策を導き入れることが不可欠。引き続き、本県産業の持続的発展に向けて全力で取り組むので、皆様のご支援と協力をお願い申し上げます」と述べた。



▲スキル習得への取組が評価され表彰

また、受賞者に対しては「本県におけるロールモデルとして、さらなるご活躍を期待する」と語った。関東道路は、デジタル分野・グリーン分野のリスキリングを先進的に推進。経営者自らがリスキリング推進責任者となり、業務調整

によりスキル習得に取り組みやすい環境を整えるほか、スキル習得に係る試験等の費用全額を会社が負担する等、積極的にスキル習得の機会を提供する取り組みが評価された。また、業務効率の向上など、スキル習得による成果

を客観的に評価する仕組みも構築し、社員の処遇改善も図っている。

ヒバラコーポレーションは、工業塗装事業をベースに、塗装に係るコンサルティングなど新分野への事業拡大を目指し、ソリューション事業を担う専門部署を設置。AIやロボット技術を活用した社内外でのDX・GX実現に向け、必要となる知識や技能の習得を推進した。

習得したスキルを積極的に活用できるよう、社内における機動的な配置転換を行うなど、適正な処遇を図っている。表彰後には、一般社団法人ジャパン・リスキリング・イニシアチブの後藤宗明代表理事を講師とし、基調講



演を実施。さらに表彰企業の取組事例を参考に、これからの組織に求められるリスキリング推進について考えるパネルディスカッションも実施した。リスキリングとは、仕事で必要とされるスキルを獲得すること。デジタル化と同時に生まれる新たな職業や、仕事の進め方が大幅に変わるであろう職業に合わせたスキル習得を目指すことが多い。